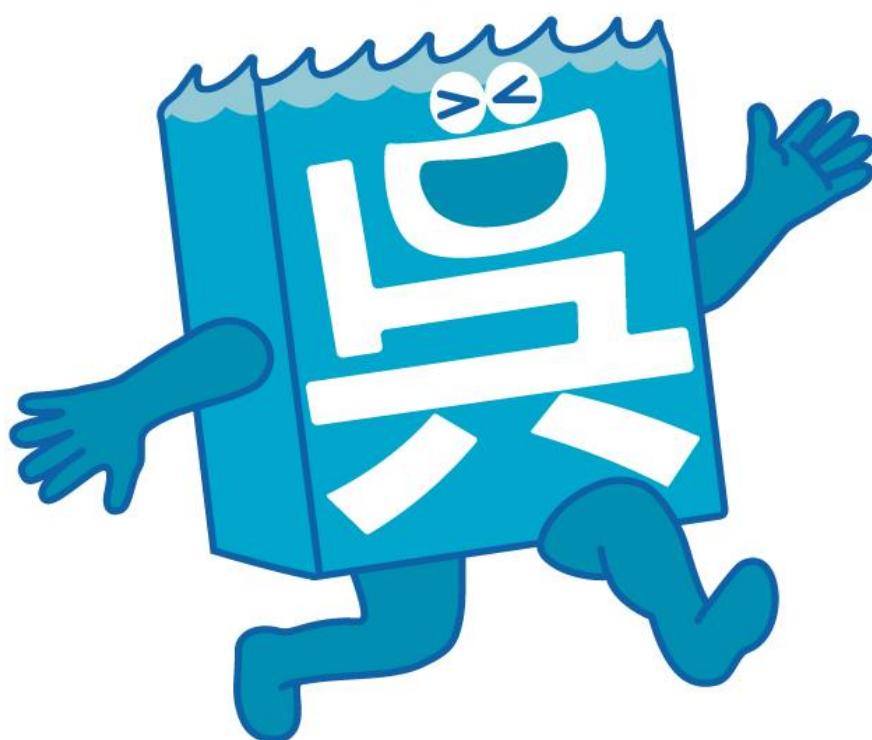


ゆ め づ く い

事 例 集



2022

編集：呉市

「ゆめづくり事例集2022」を作成しました。

それぞれのまちづくり委員会等において、特色ある資源を活かした地域の活性化や、地域の皆さんが抱える課題の解決に向けて、何をしたらいいか、また、どのように工夫すればいいかなど、地域の皆さん自身が考え、行動されている様子を紹介しています。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止になりましたが、その中でも、地域の皆さんが感染拡大防止策を講じ、例年以上に工夫を施すことで実施された事業もあります。

地域の皆さんの手で育まれ、さらに地域の絆が強まるとともに、より一層、様々な広がりを見せているこれらの事例をご覧ください、自分たちの取組と比べてみたり、新しい取組を考える際のヒントにしたりと、大いに活用していただければと思います。

## ゆめづくり事例集2022目次

No	事業名	団体名
1	昔遊び・餅つきで育む 地域・世代間交流フェスタ	第2地区まちづくり委員会
2	第3地区ふれあいラジオ体操	第3地区まちづくり委員会
3	第3地区冬まつり	第3地区まちづくり委員会
4	第四地区防災教室	第四地区まちづくり委員会
5	防災訓練と防災備品整備	第5地区まちづくり委員会
6	第6地区敬老会	呉市第6地区社会福祉協議会
7	2022 くれ中央 秋まつり	くれ中央地区まちづくり委員会
8	第12回 まるごと・中央地区ウォーキング大会	くれ中央地区まちづくり委員会
9	第8地区とんど祭り	第8地区まちづくり委員会及び社会福祉協議会、自治会連合会
10	ふれあいサロン事業	第8地区まちづくり委員会
11	ふれあい広場三条運営事業（地域活動支援事業）	ふれあい広場三条の会
12	地域住民・両城小学校生徒合同防災訓練	三条地区自主防災会連合会
13	川原石地区合同防災訓練	川原石地区まちづくり委員会
14	吉浦地区はたちの集い	吉浦まちづくり委員会
15	吉浦地区文化祭（秋・展示会）	吉浦文化団体連絡協議会
16	吉川英治文学碑記念祭	警固屋まちづくり協議会
17	警固屋学園防災参観日	警固屋まちづくり協議会
18	農業体験交流事業	警固屋まちづくり協議会
19	令和3年度 阿賀地区「成人の集い」（延期分）	阿賀まちづくり推進協議会
20	令和4年度 阿賀地区「はたちの集い」	阿賀まちづくり推進協議会

No	事業名	団体名
21	阿賀フラワーロード事業	阿賀まちづくり推進協議会
22	第74回 広地区教育祭	広まちづくり推進協議会
23	ひろ「もち」だんらん祭り	広まちづくり推進協議会
24	仁方地区自主防災会合同避難訓練	仁方町まちづくり推進協議会
25	地域交流懇談会	仁方町まちづくり推進協議会
26	宮原ホタルの里開放事業・ホタル育成事業	宮原地区まちづくり推進委員会
27	みんなで防災を考える集いin宮原2022	宮原地区まちづくり推進委員会
28	地域人材活用事業	天応まちづくり委員会
29	ウィンターコンサート	天応まちづくり委員会
30	昭和東女性会75周年記念式典	昭和東女性会
31	クリスマスコンサート	昭和西女性会
32	「おかあさんの被爆ピアノ」上映会+トークショー+被爆ピアノミニコンサート	NPO法人 昭和地区まちづくり協議会
33	ふれあい・いきいきサロン	郷原町まちづくり推進委員会
34	各種スポーツ大会	郷原町まちづくり推進委員会
35	交通安全テント村及び交通安全キャンペーン	下蒲刈地区交通安全推進協議会
36	令和4年度呉市下蒲刈地区はたちの集い	下蒲刈地区自治会連合会
37	防災手作りカレンダーを贈ろう	呉市川尻町まちづくり委員会
38	令和4年度 川尻町はたちの集い	川尻町地区社会福祉協議会
39	かわじり元気まつり	川尻町元気まつり実行委員会
40	音戸ふれあい朝市	音戸町まちづくり協議会



No	事業名	団体名
41	2022おんどフェスティバル-FINAL-	音戸町まちづくり協議会
42	くらはし観光ボランティアガイドの会ジュニアクラブ養成事業	宝島くらはしまちづくり協議会
43	くらはしお宝朝市	宝島くらはしまちづくり協議会 (お宝朝市部会)
44	令和4年度蒲刈地区はたちの集い	蒲刈地区自治会連合会
45	ふれあい・いきいきサロン・敬老会・ちよっとてご助成事業	豊浜町まちづくり協議会
46	伝統的料理の教室	豊浜町まちづくり協議会
47	島めぐり事業(斎で島コン)	豊浜町まちづくり協議会
48	農業・漁業体験事業	豊浜町まちづくり協議会
49	魔法のランプ事業	豊浜町まちづくり協議会
50	豊町カ <sup>o</sup> ライス <sup>o</sup> 花火(豊町七夕納涼祭代替事業)	豊町まちづくり協議会
51	豊町はたちの集い	豊町まちづくり協議会

※市内で取り組まれたまちづくり活動232件(令和4年度当初件数)のうち、代表的な事業51件を紹介しています。

番号	1	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	昔遊び・餅つきで育む 地域・世代間交流フェスタ			事業費	約160,000円
事業の目的	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、地域住民の外出機会の減少による地域の活力低迷の懸念から、地域が元気を取り戻し、地域間での交流の機会を増やすため「地域・世代間交流フェスタ」を開催。</p> <p>昨年度から和庄小学校児童と地域の大人に加え、地域住民全員を参加対象者として、昔遊びや餅つき大会のほか、大声コンテストなども実施し、各世代間の交流を推進することで地域の活性化につなげることを目的に実施した。</p>				
事業概要	<p>日時：令和4年12月28日（木）9時00分～12時30分</p> <p>場所：和庄小学校校庭</p> <p>内容：「昔遊び」①こま回し ②けん玉 ③お手玉 ④紙ひこうき  「ふれあい餅つき大会」①餅つき実技 ②焼き餅 ③ぜんざい ④やきいも  ⑤豚汁</p> <p>「大声コンテスト」</p> <p>参加者：約300名</p>				
企画・実施した人	<p>企画：第2地区まちづくり委員会</p> <p>実施：各地区自治会，民生委員・児童委員，女性会，PTA，地域ボランティア</p>				
苦労した点	新型コロナウイルス感染対策				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>餅つき</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>焼き餅</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>やきいも</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>大声コンテスト</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>老若男女が参加し、大人たちはこれまで培ってきた知識や経験を子どもたちに伝承し、子どもたちは遊びや餅つきなどを体験を通じて、楽しみながら昔ながらの文化を継承することができた。</p> <p>また、世代間の交流により、大人と子ども双方が地域に根ざした文化の重要性と地域住民同士のふれあいの大切さを再認識することができた。</p>				

番号	2	団体名	第3地区まちづくり委員会	代表者	齊藤 晴彦
事業名	第3地区ふれあいラジオ体操			事業費	約55,000円
事業の目的	第3地区では、第3地区まちづくり基本計画において「ふれあいのあるまちづくりの推進」を指針の一つとして定めており、安全な生活環境の整備はもとより、人と人とのふれあいの場づくりに努めています。夏休み期間を利用し、子どもから大人まで馴染みのある「ラジオ体操」を地区全体で行うことで、地域住民の健康増進とコミュニティの推進を図ることを目的としています。				
事業概要	<p>平成22年から取り組んでおり、今年で13回目にあたります。体操後には、脱水症状予防のためスポーツドリンクとタオルを配布しています。夏休み期間の休日に実施することで、幅広い世代の交流に繋がっています。令和3度からは公衆衛生推進協議会のクリーンキャンペーン事業の一環として取り組んでおり、ラジオ体操後に地域の清掃活動を実施しました。</p> <p>【日時】 令和4年7月24日（日）7時00分～8時00分  【場所】 本通小学校グラウンド  【参加者】 172名</p>				
企画・実施した人	<p>企画：第3地区まちづくり委員会役員・健康づくり部会  実施：第3地区自治会連合会・第3地区公衆衛生推進協議会・本通小学校</p>				
苦労した点	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、手指消毒の呼びかけや検温の徹底に努めました。熱中症対策として、ラジオ体操を行う際は人との距離を十分確保し、適宜マスクを外すことを促し、参加者の方々が安心して体を動かせるよう配慮しました。</p>				
活動状況	 <p>検温及び手指消毒の実施</p>		 <p>児童による模範演技</p>		
	 <p>ラジオ体操の様子</p>		 <p>スポーツドリンクとタオルの配布</p>		
活動の成果	<p>新型コロナウイルス感染症により地区行事が軒並み中止となる中、感染防止対策を施し、例年以上に工夫を重ねることで事業実施に結びつけました。本事業を通じて、地域住民の健康増進を図るとともに、今まで当たり前のように捉えていた「地域住民とのふれあい」に対する価値の大切さを再認識することができたと感じています。</p>				



番号	3	団体名	第3地区まちづくり委員会	代表者	齊藤 晴彦
事業名	第3地区冬まつり			事業費	約160,000円
事業の目的	<p>合同防災訓練や交通安全教室を兼ねた複合イベント「冬まつり」を実施することで、安全安心なまちづくりの推進及び公的機関との連携強化による地域力向上を目指します。</p> <p>また、地域の伝統文化である「とんど」を通じて、地域住民の絆を深めるとともに、地域への誇りや愛着の醸成を図ることを目的としています。</p>				
事業概要	<p>平成22年度に30年ぶりに復活を果たした「とんど焼き」を中心とした地域の子供と大人の交流を図る事業で、今年度は13回目にあたります。交通・防犯教室や合同防災訓練も兼ねており、多世代間の交流と合わせて地域の安全性向上に務めることで、他者への思いやりに富んだ魅力的なまちづくりを推進しています。</p> <p>授業の一環として本通小学校の児童も事業に取り組んでおり、4年生は防災に関する学習成果の発表、6年生はミニとんどの作成を行っています。</p> <p>日時：令和5年2月5日（日）9時～12時  場所：本通小学校グラウンド、体育館、理科室等  参加者：258名  合同防災訓練：防災グッズ展示説明、防災用簡易ベッド及び仕切り作成、負傷者搬送訓練、土のう構築訓練</p>				
企画・実施した人	<p>企画：第3地区まちづくり委員会役員・地域文化の伝承部会  実施：第3地区自治会連合会・本通小学校  第3地区防災リーダー・地域内外の有志  呉市職員</p>				
苦労した点	<p>とんど製作を行うにあたり、早期からの材料調達や安全に留意した作業及び設計に努めました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、土のう構築訓練や簡易担架を用いた負傷者搬送訓練等、地域の住民のみで取り組める計画を立てて実施に結びつけました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>土のう構築訓練</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>6年生によるとんど製作</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>4年生による防災に関する学習成果発表</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>とんど焼きの様子</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>令和2年度に引続き、新型コロナウイルス感染防止のため、餅つき大会や交通安全教室、ぜんざいやとん汁の炊き出しを中止し、一般の参加者の入場をお断りする等、例年と違う形での開催となりました。しかしながら、まちづくり委員会をはじめ各自治会の防災リーダー、本通小学校の先生や児童が協力して作り上げる新しい形の「冬まつり」として、第3地区の魅力を一層高めることができたと感じています。</p>				

番号	4	団体名	第四地区まちづくり委員会	代表者	小林富子
事業名	第四地区防災教室			事業費	213,500円
事業の目的	地域住民に対する防災意識を喚起し、住民及び関係機関が連携して、災害による人的被害を最小限にする地域社会を構築することを目的として実施しています。				
事業概要	<p>日時：令和5年2月19日（日）午前9時～午前11時40分</p> <p>場所：長迫小学校 屋体</p> <p>内容：(1) 会長あいさつ  (2) 防災講和（呉市危機管理課）  (3) 特殊詐欺の話（呉警察署）  (4) 3班に分かれ各ブース体験  ①救急訓練（AED心肺蘇生） ②地形立体模型  ③段ボールベッド・簡易トイレ ④震度体験（家屋地震）  (5) 消火訓練（消火器の取り扱い・天ぷら油火災） ※雨天により中止  ※参加者に災害食（市危機管理課提供）、防災グッズ（ホイッスル、非常用袋）を配布</p> <p>参加人数：地区関係者150名、市・消防 10名、呉高専、呉昭和自主防災連合協議会 10名</p>				
企画・実施した人	<p>第四地区自治会連合会、地元女性会や民児協などとも連携を図っている。</p> <p>今年度は、地区の3D模型を高専に依頼し作成。地区の地形を理解しやすくなるよう工夫した。</p> <p>また、震度体験については、昭和地区に協力を依頼し、地域のみならず、他地域の活動も知るきっかけになった。</p>				
苦勞した点	<p>高齢者の参加が殆どで、且つ訓練内容が多いため、時間を長引かせないように、進行に留意した。</p> <p>今回は、7月、10月に地区内自主防災リーダーが集まって研修を行う等、防災問題を皆で考えてもらうためのしかけづくりや調整に時間と根気を要した。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>屋体へ集合</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>危機管理課による講話</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>呉警察による講話</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>心肺蘇生訓練</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>震度体験</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>段ボールベッド作成</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>地区の3D模型</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>家屋地震の説明</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>簡易トイレ組立</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>だんだん防災意識が身についている。防災リーダーが積極的に案内や説明をされており住民との連携が図れた。地区の子どもの参加もあり地域ぐるみの防災教育になった。</p>				



番号	5	団体名	第5地区まちづくり委員会	代表者	土本 敏明
事業名	防災訓練と防災備品整備			事業費	約350,000円 (訓練, 備品合計)
事業の目的	<p>第5地区は、市内中心部から灰ヶ峰中腹にわたり南北に細長く広がる地域で、急峻な地形が複数の河川や谷などを形成しており、また急勾配で狭い道路も多く、災害時の避難や物資の搬送などに不安を抱えています。</p> <p>災害はいつ来るかわからないことから、コロナ禍においても「防災」に対する意識を高めるとともに、実際の災害時における行動を想定した「体感」シミュレーションを行うため、地域内を学校区ごとの2ブロックに分けて総合防災訓練を行いました。</p>				
事業概要	地区	荘山田小学校区	明立小学校区		
	日時	令和4年7月19日(火)	令和4年12月19日(月)		
	場所	荘山田小学校	明立小学校		
	参加者	165名 自治会長, 女性会役員, 学生 民生委員児童委員, 防災リーダー	251名 自治会長, 女性会役員, 学生 民生委員児童委員, 防災リーダー		
	内容	「マイ・タイムライン」作成に当たって、地域主役の避難所開設・運営訓練			
企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内の「安心して住めるまちづくり部会」が企画し、各学校区ごとに、所属する自治会長が中心となって、会場や物品の準備、当日の運営などを行いました。</p>				
苦労した点	<p>一昨年度からコロナ禍での防災訓練ということで、受付方法、会場の配置、学生はzoomを活用して遠隔で防災講演を聴講する等、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、コロナ禍においてどのように避難所を運営するか、参加者に少しでも興味を持ってもらえるよう工夫しました。</p>				
活動状況	 <p>検温及び手指消毒の実施</p>		 <p>テント設営訓練</p>		
	 <p>防災講演のようす</p>		 <p>中学生が小学生に段ボールベッド作成の過程を実演</p>		
活動の成果	<p>毎年、繰り返し防災訓練を実施することで、防災意識の向上につながっています。また、避難所では「お客さん」ではなく、避難者が自ら運営に協力しなければならぬという意識づけができました。</p> <p>小・中学生が段ボールベッドの組み立てを実際に体験することで、より自分事として防災を考えるきっかけづくりができました。</p>				






番号	6	団体名	呉市第6地区社会福祉協議会	代表者	藤本 勝彦
事業名	第6地区敬老会			事業費	約580,000円
事業の目的	<p>第6地区では、地元の団体や、学校、社会福祉法人など各種団体が協力して、敬老者に喜んでいただけるアットホームな敬老会が開催できるよう努めており、地域の団結力向上にもつながっています。</p> <p>また、会場である片山中学校体育館は高齢者等避難の避難情報が発令されたときの開設場所であるため、会場に避難所表示旗を掲げ、改めて地区住民に避難場所を周知する避難訓練も兼ねたものとなりました。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 令和4年10月29日(土) 10時～12時30分</li> <li>・場所 片山中学校体育館</li> <li>・敬老対象者数 621人 ・来場者数 366人(内敬老者298人)</li> <li>・内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>式典 ①開会のあいさつ ②国歌・呉市歌静聴 ③物故者への黙祷</li> <li>④会長あいさつ ⑤来賓祝辞・紹介 ⑥祝電披露</li> <li>演芸 ①特別講演 認知症からの贈り物～「ぼけますから、よろしくお願いします。」 講師 信友 直子 様 (映画監督)</li> <li>②コーラスと手話 かしの木・片山女性会</li> <li>②吹奏楽 片山中学校吹奏楽部</li> <li>閉会のあいさつ</li> </ul> </li> </ul>				
企画・実施した人	呉市第6地区社会福祉協議会と第6地区まちづくり委員会を中心とした地元の各団体が協力して実施しています。				
苦労した点	新型コロナウイルス感染症対策を講じた開催				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>●中学生による受付</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>●避難訓練も兼ね避難所周知を図った</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>●信友直子監督による講演</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>●コーラスと手話(かしの木・片山女性会)</p>  </div> </div>				
活動の成果	<p>暑さ対策のため、例年であれば開催日を「敬老の日」とするところ昨年同様10月末に調整したことで、比較的過ごしやすい気候の中で敬老会を実施することができました。新型コロナウイルス感染症の影響により人との交流が減る中で、感染症対策を講じ実施できたことで参加者の方に喜んでいただけました。</p> <p>また、避難訓練も兼ねたことで地区住民が避難場所を改めて認識することができ、防災意識の向上にもつながりました。</p>				




番号	7	団体名	くれ中央地区まちづくり委員会	代表者	木村 公一
事業名	2022 くれ中央 秋まつり			事業費	1,098,007円
事業の目的	<p>中央地区には史跡や神社仏閣、伝統行事がないため、地区の祭りがなく、高齢者と若者・子どもの交流が少なくなっています。また、近年マンション等の住民は増えていますが、自治会に加入していない方も多いため、若い世代が地域行事に参加する機会が少なくなっています。</p> <p>このような中、交流と賑わいの場を創り出すとともに、地域の方の参加意識の向上を目指して、例年は「くれ中央地区夏まつり」を実施していましたが、コロナ感染が拡大しており大規模な開催が難しくなってしまう、感染防止対策の徹底をはかり地域の皆様に喜んで参加して頂くイベントを開催しました。</p>				
事業概要	<p>日時：令和4年10月8日（土） 10時～15時  場所：中央公園噴水西側  内容：オープニング  ボーイスカウト呉第12団， ガールスカウト広島第6団 音楽隊演奏演技  ガールスカウト ブラウニー演技（呉氏も一緒にダンス）  ゲームコーナー  スーパーボールすくい， お宝つり， フリマ・お菓子くじ， ビンゴ・輪投げ  飲食コーナー  かき氷， フライドポテト， 焼きフランクフルト， 飲み物， 焼きいも</p> <p>来場者：約1,200名</p>				
企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内のコミュニティ推進部会と青少年育成部会が中心となって企画立案するとともに、他の部会と民生委員などが協働して各ブースの設営、運営に当たりました。</p>				
苦労した点	<p>来場の際入り口での検温・アルコール消毒・マスク着用の徹底を図り、敷地内での飲食を不可とするなど感染予防対策を図りました。  コロナ感染状況によって開催できるか不安でしたが、何とか行事が行えてホッとしています。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>呉氏Jr.のダンスでオープニング</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>会場全体の様子</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>輪投げで楽しむ子供達</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ビンゴくじ抽選会で大盛り上がり</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>参加された子ども達の笑顔が溢れ、団体と地域との連携や、世代間交流、地域の団結にもつながり、開催できて本当に良かったです。</p>				







番号	8	団体名	くれ中央地区まちづくり委員会	代表者	木村 公一
事業名	第12回 まるごと・中央地区ウォーキング大会			事業費	30,035円
事業の目的	<p>中央地区は、駅に近いことから、市外へ通勤通学する方が多く、またオフィスビルも多いため、昼間人口と夜間人口の動きが激しくなっています。また、マンションが多く、共働き世帯も多いことから、人のつながりが希薄になっています。</p> <p>このような中、自治会加入者と未加入者、また地域内に住む方と地域内で働く方など、多くの方が交流し、楽しく健康づくりができるよう、「まるごと・中央地区ウォーキング大会」を実施しています</p>				
事業概要	<p>日時 令和4年5月21日（土） 午前9時～午後1時</p> <p>参加者 62名</p> <p>内容 散策コース 約6km 中央公園→テニスコート前→多目的グラウンド→二河峡公園（折り返し） 多目的グラウンド→テニスコート前→中央公園（ゴール）</p>				
企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内の健康づくり部会（メンバー10人）が中心となって企画立案するとともに、他の4つの部会と民生委員、防犯パトロール隊、健康増進課職員（健康くれ体操）などが協働して運営に当たりました。</p>				
苦労した点	<p>平成28年より、まるごと中央地区と題して、中央地区を一週するコースを基本に設定しました。</p> <p>お年寄りや子どもの参加者が多く、交通量の多いまちなかのコースでの安全確保をしっかりと行うため、防犯パトロール隊を始め、まちづくり委員会メンバーが先導やコース管理などを行い、安心してウォーキングを行うことができるよう注意しました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>準備運動(健康くれ体操)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>散策コース(二河川を横断)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>二河峡公園で一休み</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>二河峡で驚きの光景に出会う</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>地域住民の健康意識を高めると共に、世代間交流の場にもなりました。</p>				

番号	9	団体名	第8地区 まちづくり委員会 及び 社会福祉協議会, 自治会連合会	代表者	大世渡 隆臣 松浦 泰三 大畠 正
事業名	第8地区とんど祭り			事業費	約68千円
事業の目的	<p>心ふれあうまちづくりの推進のため、まちづくり委員会と地区社会福祉協議会を中心に、地元青年団、消防団などの協力によって、地区内の恒例伝統行事として毎年開催しています。</p> <p>市中心部では「とんど」を行っているところは少なく、第8地区では、近隣地区からもしめ飾りを燃やしたい人たちを受け入れており、中央地域全体の「とんど祭り」として広がりを見せています。</p>				
事業概要	<p>日時：令和5年1月22日（日） 13時点火～</p> <p>場所：二河川公園, 二河川河川敷 参加人数：約300人</p> <p>内容：とんど（二河川河川敷）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>青年団を中心に、ワラや竹（1.6m）などの材料を調達して、1月15日にとんどの「やぐら」を組みました。</li> <li>会長あいさつの後、その年の干支生まれの人たち（年男年女）によってとんどに点火しました。</li> <li>笹酒（竹筒で温めた酒）で無病息災を祈りました。</li> <li>海外からの留学生や研修生が参加し、自分たちで書いた書き初めをとんどで燃やしたり、笹酒を飲んだりして日本の伝統文化を経験しました。</li> <li>参加した子どもたちにはお菓子の詰め合わせを配りました。</li> </ul>				
企画・実施した人	まちづくり委員会, 地区社会福祉協議会, 自治会連合会, 地区民生委員児童委員協議会, 青年団, 消防団など				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>とんどの「やぐら」組みや材料の調達など</li> <li>特にとんどの「やぐら」組みは、青年団を中心にとんど実施前から多くの時間と人手をかけて組み上げています。</li> </ul>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>書き初めを燃やします</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>点火前のあいさつ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>年男年女による点火</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>勢いよく燃え上がるとんど</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>笹酒を飲んで無病息災</p> </div> </div>				
活動の成果	今年も多くの地域の方が参加し、交流をすることができました。また、海外から多くの留学生の参加があり、地域との交流を深めました。				



番号	10	団体名	第8地区まちづくり委員会	代表者	大世渡 隆臣																																																						
事業名	ふれあいサロン事業			事業費	約270千円																																																						
事業の目的	高齢者の社会的孤立を解消し、地域住民との交流やふれあい・生きがいを通じて、元気に安心して暮らせる居場所づくりを目的とする。																																																										
事業概要	<p>日程：各月週4回の開催</p> <p>場所：東愛宕自治会集会所</p> <p>内容：カラオケ教室</p> <table border="0"> <tr> <td>【R4実績】</td> <td>4月</td> <td>12回</td> <td>67人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>5月</td> <td>10回</td> <td>57人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>6月</td> <td>13回</td> <td>76人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>7月</td> <td>13回</td> <td>67人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>8月</td> <td>12回</td> <td>66人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>9月</td> <td>13回</td> <td>74人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>10月</td> <td>11回</td> <td>61人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>11月</td> <td>9回</td> <td>58人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>12月</td> <td>11回</td> <td>72人</td> <td>※令和4年12月末時点のもの</td> <td></td> </tr> </table> <p>その他：平成25年度からの継続事業 今年度をもって当事業は終了とし、来年度以降は別事業を企画する</p>					【R4実績】	4月	12回	67人				5月	10回	57人				6月	13回	76人				7月	13回	67人				8月	12回	66人				9月	13回	74人				10月	11回	61人				11月	9回	58人				12月	11回	72人	※令和4年12月末時点のもの	
【R4実績】	4月	12回	67人																																																								
	5月	10回	57人																																																								
	6月	13回	76人																																																								
	7月	13回	67人																																																								
	8月	12回	66人																																																								
	9月	13回	74人																																																								
	10月	11回	61人																																																								
	11月	9回	58人																																																								
	12月	11回	72人	※令和4年12月末時点のもの																																																							
企画・実施した人	まちづくり委員会が企画立案し、各自治会が受付等の当番を担う。																																																										
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当番の担い手の確保</li> <li>・参加者数の確保</li> </ul>																																																										
活動状況																																																											
活動の成果	<p>昨年度から引き続き、密とならないよう、感染防止対策をとりながら交流の場としての事業となった。</p> <p>参加者数の減少や当番の担い手不足などの現状を踏まえて、今年度でカラオケ教室を終了とし、来年度以降は別事業を企画する。</p>																																																										





番号	11	団体名	ふれあい広場三条の会	代表者	力安 鈴子
事業名	ふれあい広場三条運営事業（地域活動支援事業）			事業費	約300,000円
事業の目的	<p>誰もが気軽に集える「ふれあい広場」は、三条商店街の空き店舗をふれあい広場三条の会が借り受け、平成24年9月に開設し10年を迎えました。まちづくり委員会が家賃を支出、整備や運営はすべてふれあい広場三条の会のボランティアスタッフが担当する手作りの施設です。</p> <p>季節毎のイベントも開催され、まちづくり計画に掲げた地域課題を解決するための各事業をこの広場で実施し、「住んでよかった、いつまでも住み続けたい両城・三条地区」にしていきたいと頑張っています。</p> <p><b>何よりもボランティアスタッフの皆さんが、いきいきとやりがいを感じ、楽しんで運営されておられます。</b></p>				
事業概要	<p>場所：呉市三条2丁目15-20「毛糸きくや」跡の空き店舗 （平成24年9月8日オープン）</p> <p>活動時間：毎週月曜日～土曜日（日曜・祝日は休所日）10時～16時30分</p> <p>面積：（間口）3m×（奥行）12m＝約36㎡（約11坪） 家賃 3万円/月</p> <p>利用料金：無料（お茶無料、コーヒー100円、かき氷100円（夏季限定）で提供） 誰でも無料で利用できる無料休憩所</p> <p>運営体制：1日3人のボランティアにより運営（合計19人役/週）</p> <p>メンバー：三条まちづくり委員会会員、各自治会関係者、民生児童委員、赤十字奉仕団会員、運動推進委員、一般住民など</p> <p>利用実績：最近の利用人員 月平均 500人、一日平均 25人 ・平日はお茶やコーヒーをいただきながらの気まぐれおしゃべり会</p> <p>イベント：4月…お花見会 6月…七夕飾りづくり 7月…夏祭り （例年）10月…ハロウィン 12月…クリスマス会 2月…節分豆まき 3月…震災を忘れないための11コンサート</p> <p>その他、定期的に「うた声広場」、「らくらく体操教室」などを開催</p>				
企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい広場三条の会</li> <li>・誰でも（特に高齢者）が立ち寄れる場所を切望していた地域の有志数名</li> <li>・ふれあい広場を開設するにあたり、「ふれあい広場三条の会」を設立</li> <li>・まちづくり委員会から財政支援（家賃と平成25年度限定で空調やパソコン整備）と人的支援を受けています。</li> </ul>				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大の影響による感染防止対策（3密対策・消毒等）</li> <li>・常駐するボランティアスタッフの確保（後継者の確保）</li> <li>・自主財源の確保</li> </ul>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>七夕祭り</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>11コンサート</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>第8回ふれあい夏祭り</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>第8回ふれあい夏祭り</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>地域の誰もが自由に立ち寄り、交流できる場を提供する目的として会を立ち上げ、今では、高齢者が、地域の中での人とつながり、安心して暮らしていくための「よりどころ」として利用し、特に男性の居場所に活用されている。</p>				



番号	12	団体名	三条地区自主防災会連合会	代表者	山上 文恵
事業名	地域住民・両城小学校生徒合同防災訓練			事業費	157,194円
事業の目的	<p>毎年、地域住民と小学生と合同で実施することにより、一人ひとりの防災意識を高めると共に、地域住民の絆を強め、共助しやすい街にすることを目的として防災訓練を行っています。</p> <p>急傾斜地を多くかかえるまちだけに、防災をまちづくりの柱の一つに位置づけ、地域のみinnで災害時の対応の問題点を洗い出すことで、より多くの命が助かるよう、住民の危機管理意識を育んでいます。</p> <p>一昨年度は、平成30年7月に豪雨災害があったことから、自分達が住んでいる地域特有の危険箇所や過去の災害を知ってもらうため、まち歩きを行いました。今年度は、コロナ感染予防を行い、避難時にどのように過ごしていくかなど体験を交え、避難所での訓練を行いました。</p>				
事業概要	<p>日 時：令和4年6月4日（土） 8時40分～11時00分</p> <p>参加者：両城小学校生徒及び教諭 135名、地域住民 95名、消防団・市役所 7名の計237名</p> <p>内 容：「災害・避難・コロナ禍での防災訓練」</p> <p>災害が発生し、避難所へ避難したと想定し小学校に集合しました。</p> <p>また、コロナ禍での訓練ということで、お互い間隔をあげ、密にならないよう訓練を行いました。</p>				
企画・実施した人	三条地区自主防災会連合会				
苦労した点	今年度も、新型コロナ感染拡大防止も考慮し、小学生と地域住民の参加時間をずらして行い、過去の災害について写真映像を通しての説明や、避難所に設置してある設備の使用方法についての説明を行って、実際にダンボールベッドの組立・使用体験も行いました。				
活動状況	 <p style="text-align: center;">防災訓練の様子</p>				
活動の成果	小学校が地域の避難所になっており、コロナ感染が拡大している中、災害時にはどのようにソーシャルディスタンスを保ち避難所生活を過ごしていくかなど、地域に住む住民自身が、地域の防災情報を共有して、災害時には慌てず冷静に素早く安全に避難ができるように考えてもらうことが出来ました。				

番号	13	団体名	川原石地区まちづくり委員会	代表者	川畑 勝之
事業名	川原石地区合同防災訓練			事業費	約200,000円
事業の目的	<p>川原石地区では、その地形の特性から、土砂災害発生の危険性が大きいと考え、毎年、土砂災害等に備える活動に取り組んでいます。</p> <p>今年度は、広島県防災アドバイザーによる「あなたの大切な人を守るために～マイタイムライン作成に当たって～」の防災講話と、消防局・消防団による「消火訓練・煙中体験・救急講習」、呉市危機管理課による「段ボールベット、簡易トイレの作り方」の幅広い体験を通じて、災害に備える地域住民の意識向上を図る訓練を実施しました。</p>				
事業概要	<p>日時：令和4年11月27日（日） 9時00分～11時30分</p> <p>場所：二川まちづくりセンター</p> <p>参加者数：約100名</p> <p>内容：(1) 防災講話：広島県防災アドバイザーによる防災講話  (2) 防災訓練：消火訓練（消化器の取り扱いと初期消火）  煙中体験（煙中での避難訓練）  救急講習（心肺蘇生法）  緊急時の生活備品（段ボールベット、簡易トイレ）の作り方</p>				
企画・実施した人	川原石地区自主防災連合会と川原石地区まちづくり委員会が中心となり、広島県防災アドバイザー、呉市危機管理課、西消防署及び消防団湾岸分団の指導により実施しました。				
苦労した点	コロナ過での防災訓練であり、3密対策を徹底するなど感染対策を講じる中で、実際の災害時に即した訓練にするため、どのような内容にするかを関係機関等と綿密に話し合いました。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>防災講話</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>消火訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>救急講習</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>段ボールベット作成</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>参加者一人ひとりが自分や家族、地域の方の身を守るための知識や技術を習得するため、真剣に話を聞き、訓練する姿が見られました。</p> <p>毎年、防災訓練を繰り返し実施することで、防災意識の向上につながっています。</p>				



番号	14	団体名	吉浦まちづくり委員会	代表者	藤岡 豪
事業名	吉浦地区はたちの集い			事業費	約450,000円
事業の目的	はたちを迎えられる方に対してはたちの節目をお祝いし、家族や友人、地域との繋がりをより深める機会とすること。				
事業概要	<p>日時：令和5年1月9日（月、成人の日） 10時～</p> <p>場所：吉浦まちづくりセンター 4階ホール</p> <p>対象者：令和4年度に20歳を迎える方</p> <p>内容：（1）式典の部 国歌斉唱、主催者あいさつ、来賓祝辞、記念品贈呈、花束贈呈、はたちの誓い、呉市歌斉唱</p> <p>（2）アトラクションの部 思い出の場面スライドショー 認定こども園だいしんによるお遊戯</p> <p>※ 記念撮影（後日全員に送付）</p> <p>参加者数：はたちの方 36名</p>				
企画・実施した人	吉浦まちづくり委員会				
苦労した点	コロナ禍の中での開催				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>花束贈呈</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>はたちの誓い</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>認定こども園だいしんのお遊戯</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>記念撮影</p> </div> </div>				
活動の成果	地域の団体（自治会連合会、女性会、民生委員児童委員協議会）及び民間の認定子ども園等が力を合わせてはたちの方をお祝いし、はたちの方の地元への愛着を深めることができた。また、地域の活性化を図ることができた。				



番号	15	団体名	吉浦文化団体連絡協議会	代表者	大年 秀基
事業名	吉浦地区文化祭（秋・展示会）			事業費	約60,000円
事業の目的	まちづくりセンターを拠点として活動する講座やサークル等の成果を発表することで今後の活動の励みとし、ひいては地域の文化向上に資するため。				
事業概要	<p>日 時：令和4年11月12日（土）9時～17時 令和4年11月13日（日）9時～15時</p> <p>場 所：吉浦まちづくりセンター 4階ホール</p> <p>場 内 容：吉浦文化団体連絡協議会に属する団体，まちづくりセンターの講座の受講生、地域で活動されている方々の作品を展示</p> <p>出展者数：17団体（個人） 来場者数：285人</p> <p>出 展 者：成人書道（講座）・書写水曜日（講座）・女性書道（講座）・水墨画同好会 実用の書と筆ペン（講座）・盆栽同好会・成人華道（講座）・絵手紙（講座） デコパージュ（講座）・ミニチュア樹脂粘土（講座）・和会（なごむかい） 絵画（個人）・水彩画（個人）・吉浦女性会・吉浦体育協会・吉浦中学校 吉浦社会福祉協議会</p>				
企画・実施した人	吉浦文化団体連絡協議会（事務局：吉浦まちづくりセンター）				
苦労した点	コロナ禍の影響により3年振りの開催となったが，その間事務局の担当者が変わったことで，運営に関するノウハウが失われた中での開催となり，手探りで新たにノウハウを蓄積していく必要が生じてしまった点。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>鑑賞の様子</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>盆栽同好会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>和会（なごむかい）</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>デコパージュ</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>実用の書と筆ペン</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>絵画（個人）</p> </div> </div>				
活動の成果	3年振りに日頃の活動の成果を披露する場を設けることで今後の活動に向けた節目となった。また，多くの方に鑑賞していただき，吉浦町民のふれあいの場となったことで地域の絆づくりの一助となった。				



番号	16	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	松田満雄
事業名	吉川英治文学碑記念祭			事業費	約100,000円
事業の目的	吉川英治が「新平家物語」を執筆する際、音戸の瀬戸を訪れたことにちなみ設置された「吉川英治文学碑」の設置日である5月3日にイベントを開催することにより、地域住民並びに音戸の瀬戸来訪者に警固屋地区の重要な文化的、観光的資源について再認識してもらうとともに、広く知名度の向上を図る。				
事業概要	<p>日 時：令和4年5月3日（火・祝）10時～11時</p> <p>事業内容：  (1) 記念式典  (2) 記念碑への献花</p> <p>参加者数：参加者 20名  運営スタッフ等 20名  合計 40名</p>				
企画・実施した人	警固屋まちづくり協議会				
苦労した点	警固屋地区における大型連休中の恒例行事であるイベントであるが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、飲食ブースや写生大会等の催しは中止とし、式典行事と献花のみを実施した。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>イベント当日は晴天に恵まれました</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>記念式典の様子</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>吉川英治文学碑への献花</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>式典では読書に親しんだ警固屋学園の児童生徒への表彰が行われました。</p> </div> </div>				
活動の成果	行事当日は観光で音戸の瀬戸公園を訪れた観光客も多く、音戸の瀬戸公園並びに吉川英治文学碑の存在を内外にPRすることができた。				

番号	17	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	松田満雄
事業名	警固屋学園防災参観日			事業費	約50,000円
事業の目的	<p>学校（児童・生徒・教職員），保護者，地域が，協働的に防災訓練を行うことによって防災意識を高め，自然災害に備える。</p> <p>防災訓練を通して，消防局・警察・行政等の「公助」だけでなく，家族による「自助」（自分の命は自分で守る），警固屋地区の住民による「共助」（共に助け合う）の力を養うことを目的とする。</p>				
事業概要	<p>日 時：令和4年11月27日（日）</p> <p>事業内容：防災体験（消火器体験・土のう作り・搬送法実演・AED講習等）</p> <p>参加者数：約230名 （児童・生徒・保護者・消防局・消防団・地域の方々）</p>				
企画・実施した人	警固屋まちづくり協議会・警固屋学園				
苦労した点	<p>より多くの人に様々な防災に関する体験を行ってもらうことと新型コロナウイルス感染予防対策を両立させるため，班分けや密にならないように各ブースを移動する際の導線について検討を行った。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>多くの参加者の元，様々な体験が行われました</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>消火器体験</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>AED講習</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>土のうづくり体験</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>学校（児童・生徒・教職員），保護者，地域が，協働的に防災訓練を行うことによって防災意識を高めることができた。</p>				



番号	18	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	松田満雄
事業名	農業体験交流事業			事業費	約40,000円
事業の目的	<p>警固屋小学校の1年生の児童を対象に、農作業体験や収穫体験をさせるとともに、焼き芋を焼いて子どもたちに食べてもらうことで、地産地消や食育について学ぶ機会を設ける。</p> <p>また、地域住民にも事業へ参加してもらうことで、子どもたちと地域住民の交流促進を図る。</p>				
事業概要	<p>日 時：令和4年12月13日（火） 9時～11時00分</p> <p>場 所：警固屋6丁目11番付近の畑</p> <p>事業内容：  (1) 野菜の収穫体験  (2) 焼き芋の試食</p> <p>参加者数：約40名  (1年生児童・教諭・まち協役員・農協職員・地域ボランティア)</p>				
企画・実施した人	警固屋まちづくり協議会 警固屋第11区自治会有志・警固屋小学校				
苦勞した点	<p>地域の方々が積極的に参加して運営してくれたため、終始地域の方主導で事業を進めることができました。</p> <p>畑のお世話は、イノシシ等の鳥獣被害に悩まされながらも、ボランティア精神旺盛な11区自治会有志の方が主になっていただき、警固屋小学校、警固屋まち協の方々から感謝されています。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>児童と地域の方々との交流も深まりました</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>野菜の収穫体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>美味しい焼き芋</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>子どもたちと地域の方々が一緒になって農作業体験をさせることで、地産地消や食育について学ぶ機会を設けることができた。</p> <p>また、子どもたちと地域住民の交流促進を図ることができた。</p>				


番号	19	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤 忠二
事業名	令和3年度 阿賀地区「成人の集い」(延期分)			事業費	400,000円
事業の目的	阿賀地区在住及び阿賀地区出身の新成人を祝うため、記念式典を実施する。				
事業概要	<p>日時：令和4年5月1日(月・祝) 11時～</p> <p>場所：阿賀市民センター 3階ホール</p> <p>内容：記念式典  国歌斉唱  主催者挨拶  はたちの誓い(新成人より男女各1名)  呉市歌斉唱</p> <p>記念写真撮影(集合写真)</p>				
企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会				
苦労した点	阿賀まちづくり推進協議会が実行委員として開催しており、今年度はコロナの拡大により1月予定の開催が急遽延期になり、式典だけの簡素なものにして開催した。5月の開催は初めてでしたが、新成人には大変喜ばれた。				
活動状況					
活動の成果	新成人にとって、一生に一度の行事であったため、中止・延期がささやかれる中、無事実施できて良かった。新成人や関係者の方々にも喜ばれ、阿賀町民みんなで新たな門出を祝うことができた。				



番号	20	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤 忠二
事業名	令和4年度 阿賀地区「はたちの集い」			事業費	500,000円
事業の目的	阿賀地区在住及び阿賀地区出身の二十歳(はたち)の人を祝うため、記念式典を実施する。				
事業概要	日時：令和5年1月9日(月・祝) 11時～ 場所：阿賀市民センター 3階ホール 内容：記念式典 国歌斉唱 主催者挨拶 はたちの誓い(新成人より男女各1名) 呉市歌斉唱  記念写真撮影(集合写真)				
企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会				
苦労した点	阿賀まちづくり推進協議会が実行委員として開催しており、今回もアトラクション等は中止し、コロナの感染対策を徹底し、式典だけの簡素なものにして開催した。				
活動状況					
活動の成果	新成人にとって、一生に一度の行事であったため、中止・延期がささやかれる中、無事実施できて良かった。新成人や関係者の方々にも喜ばれ、阿賀町民みんなで新たな門出を祝うことができた。				





番号	21	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤 忠二
事業名	阿賀フラワーロード事業			事業費	200,000円
事業の目的	阿賀の豊栄地区には、阿賀小学校、阿賀中学校、市立呉高校、呉工業高等専門学校、呉南支援学校、広島文化学園大学、呉高等技術専門学校など多くの学校が集中しており、阿賀学園地域教育連携協議会「アガデミア」を構成して学校・地域の連携を図っています。本事業は事業を開始して12年となり、まちづくりの一環として定着しています。アガデミア学校周辺の通学路にフラワーポットを設置し、花いっぱいの道とすることで、子どもたちや地域の人たち、通行する人たちの心を和ませることを目的としています。				
事業概要	広島県立南支援学校は、毎年12月13日と14日に中学校の生徒の皆さんと地域のボランティアの方で学校横の県道沿いにあり「虹の花壇」にパンジー、ビオラ、スーパーリッサムの苗植えを行い2日に渡って行っている。				
企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会 (呉南支援学校の先生及び生徒の皆さん 地域のボランティアの方)				
苦労した点	毎年、12月の寒い中行われるので生徒の皆さんも水やりする時は大変寒いので体力が消耗される。またボランティアの方々が年々少なくなっている事。				
活動状況					
活動の成果	学生や車が多く行き交う場所であるため、通行する人が心を和ませており阿賀まちの発展に貢献した。				

番号	22	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	第74回 広地区教育祭			事業費	3,000,000円
事業の目的	<p>広村の先人が遺した旧広村公会堂前（現・広小学校）にある「教育第一」の石碑の精神を受け継ぎ、昭和24年から開催。「学ぶ・創る・楽しむ・夢がひろがる」をスローガンに、世代を問わず、文化行事からスポーツまで地域を挙げて行う伝統行事。</p>				
事業概要	<p>例年、11月のおよそ1か月間をかけて、作品展示や舞台発表、教育功労者表彰式、文化講演会、交流広場などを開催している。</p>				
企画・実施した人	<p>主催：広まちづくり推進協議会  共催：呉市  主管：広地区教育祭実行委員会  後援：呉市教育委員会  ※その他、協力・協賛団体あり</p>				
苦勞した点	<p>関係団体との連絡調整、参加者（団体）の事前準備</p>				
活動状況	<p>■教育功労者表彰式 11月23日（水・祝）広地区の教育文化の向上に寄与した個人・団体を表彰する式典。今年は個人11名と団体1団体を表彰した。</p>  <p>■3年ぶりに屋外では交流広場、1階市民ギャラリーでは高校生による大書揮毫を開催した。</p>				
活動の成果	<p>文化講演会は、広島東洋カープ元監督 緒方孝市氏による講演を中学生野球チームや多くの年代の方の参加を得て開催した。  選手の立場・監督の立場として、あらゆる角度から講演していただいたため、年代を超えて思いが伝わったと感じた。  今後は、若い力を取り入れた行事を計画し、広地区に関係する方を中心に多くの魅力を発信できると確信している。</p>				

番号	23	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	ひろ「もち」だんらん祭り			事業費	500,000円
事業の目的	日本の伝統文化である餅つきを中心に世代を超えた交流を行うことによって、人と人との繋がりをつくり、後世に伝えることを目的とする。				
事業概要	12月の最後の日曜日に、餅つきやステージ・子ども体験会・キッチンカーなど、広地区を盛り上げてくれるメンバーで開催した。 未就学児はもちろんのこと、多世代が楽しめるイベントとして位置づけている。				
企画・実施した人	主催：広まちづくり推進協議会（Replace・ひろまちdesign factory）				
苦労した点	学生主体で企画をしたため、進捗状況などの調整に苦労した。行政主導にしないように、タイミングを見ながらアドバイスすることにも苦労した。				
活動状況	<p>■ 12月25日（日）にひろまちギャラリー（広交差点入口付近）を中心に、広町の魅力を多くの方に見てもらい、体験してもらった。</p> <p>餅つきでは、まちづくり協議会のメンバーと地域の子供たちが一緒になって「よいしょー」とかけ声をかけながら、お餅をつきました。</p> <p>子ども体験コーナーでは、地元企業の方と連携して、釘打ち体験や漆喰塗り体験などを職人さんと一緒に体験しました。日頃経験することができないことばかりで、真剣なまなざしで頑張っていました。（親子で協働する機会にもなりました。）</p> <p>広町ならではの発想で企業からユニックを借りて、「ひろまちスター誕生」のカラオケ大会を開催しました。小学生から大人まで自由参加で歌っていただきました。歌自慢な人がたくさんいて、次回はホールで開催しようかと！</p>				
活動の成果	<p>予想以上に未就学児や小学生が参加してくれた。必然的に保護者の方も参加してくれたため、今後のまちづくりに協力してもらえると感じた。</p> <p>また、今年度は地元企業の方と連携して、子どもたちが体験できるコーナーを設置した。</p> <p>多くのことを体験することによって、子どもたちの将来の夢に繋がればという思いで実施した。</p> <p>これからは、人と人との繋がりを大切に、広町が中心となり、他ではできないことに取り組んでいけると実感した。</p>				





番号	24	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	大谷 寛和
事業名	仁方地区自主防災会合同避難訓練			事業費	約84,000円
事業の目的	仁方地区の地域防災避難行動に焦点を当てた実践的な訓練を通じて、一人一人が安全・確実に避難するための避難通路、避難場所、一時避難場所などを確認しながら、防災意識の高揚を図ることを目的とし、11自治会が連携し仁方地区自主防災会合同避難訓練を実施しました。				
事業概要	<p>日時：令和4年6月4日（土） 9時15分～12時00分</p> <p>場所：仁方小学校（体育館）</p> <p>内容：①各地区訓練場所の区域内に配置した消防団車両及び消防団員により「避難指示の発令」の広報を実施</p> <p>②自治会・自主防災会組織、東消防署、消防団が連携協力して、避難の呼びかけや避難誘導を行いながら、各地区指定場所に集合し、仁方小学校に避難 仁方小学校に到着後、東消防署の指導により各自治会単位で消火訓練などを実施</p> <p>③消火訓練（東消防署 仁方出張所） 消火シュミレーターによる消火訓練を実施</p> <p>④ヘラセオン（防災センター） 防災センターが保有するヘラセオンにより大雨・台風の疑似体験</p> <p>⑤防災講話（呉市福祉保健部高齢者支援課） 「災害から命を守る避難」</p>				
企画・実施した人	仁方町まちづくり推進協議会と同地区自主防災会が中心となり企画しました。				
苦労した点	災害時において、どのように対応するか、各地区の実情に即した訓練内容の検討				
活動状況	 <p>仁方小学校への避難</p>  <p>消火訓練</p>  <p>ヘラセオン</p>  <p>防災講話</p>				
活動の成果	自治会・自主防災会組織、消防署、消防団が連携協力して、避難の呼びかけや避難誘導を行い、避難通路、避難場所などを確認することにより、防災意識の高揚を図った。				

番号	25	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	大谷 寛和
事業名	地域交流懇談会			事業費	0円
事業の目的	仁方の福祉について、講演、意見交換等を通して、住みよい仁方のまちづくりを考える。				
事業概要	<p>日 時：令和5年1月28日（土） 10時～11時30分          場 所：仁方まちづくりセンター3階ホール          テーマ：仁方っていいなあ。そんなまちづくり          ～ふれあい・支え合う福祉のサービス～</p> <p>内 容：①開会式          ②講演1「障害がある人とのコミュニケーションについて」          ～障害の特性および多様なコミュニケーション手段の紹介～          講師：呉市障害福祉課 課長補佐 高浜 理加さん          演題2「知っていますか？地域包括支援センター－高齢者の相談窓口－」          講師：呉市高齢者支援課 主幹 矢村 里美さん          呉市東部包括支援センター（社会福祉法人 三篠会）          ③質問等          ④閉会式</p>				
企画・実施した人	仁方町まちづくり推進協議会役員が中心となって企画し、呉市が実施している「出前トーク」を活用して実施しました。				
苦労した点	・新型コロナウイルス感染症の感染状況を勘案した地域住民への広報				
活動状況	<p>どんな条例なの</p> <p>障害の特性に応じたコミュニケーションは、一人ひとりの状態や環境などによってさまざまです。</p> <p>多様なコミュニケーション手段をみんなが尊重し、理解することで、障害のある人が自分にあったコミュニケーション手段を使いやすい社会にしていけるための条例です。</p> <p>呉市情報コミュニケーション条例</p>		<p>どんな条例なの</p> <p>手話は日本語と異なり、手の形、位置、動きに加えて、表情や強弱などを用いて視覚的に表現する独自の文法体系を持つ言語です。</p> <p>「手話は言語」であることをみんなに知ってもらい、手話を普及し、ろう者（手話を母語として使用する聴覚障害者）への理解を深め、生活しやすい社会にしていけるための条例です。</p> <p>呉市手話言語条例</p>		
活動の成果	<p>知っていますか、地域包括支援センター</p>  <p>呉市高齢者支援課</p> <p>知っていますか？地域包括支援センター－高齢者の相談窓口－</p> <p>地域包括支援センターの活動</p> 				
活動の成果	現在、呉市が進めている施策に関する講演や東部地域包括支援センターの活動についての説明を受け、質疑応答などにより、住みよい仁方のまちづくりへの取組の一助となっている。				





番号	26	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	阪井 昌行
事業名	宮原ホタルの里開放事業・ホタル育成事業			事業費	34,000円
事業の目的	<p>地域内を流れる神原川のきれいな水を利用し、地域住民によって整備した「宮原ホタルの里」を、ホタルが羽化する6月に一般開放して鑑賞できるようにするため、環境保全など維持管理に努めている。また、子どもたちにも自然環境美化へ関心を導くため、地区内の小学校で育成方法を学びながらホタルの幼虫を育てる取組や、ホタルの里を宮原地区の宝として広くPRするため、「宮原ホタルん」をイメージキャラクターとした広報活動を行っている。</p>				
事業概要	<p>平成22年に呉市の「まち普請事業」や平成24年に第一生命と都市緑化機構の「緑の環境デザイン賞 緑化大賞」を受賞し、交付金や助成金で神原公園の隣接地（約600㎡）の整備、神原公園内の小川とホタルの幼虫・メダカなど小生物のすみかとなる池の築造、あじさいの植樹を行うなど、多くの町民ボランティア及び地元の小中学生の協力を得ながら、平成25年3月末に「宮原ホタルの里」は完成した。その後毎年、地域住民、地元小・中・高校生と連携し行事や清掃、観察会等を実施している。</p> <p>令和4年度は、下記のとおり行事等を実施した。</p> <p>6月 1日 ホタルの里清掃活動</p> <p>6月 4日～19日 ホタルの里観賞会（金・土・日開催）来場者数532人</p> <p>6月 4日 観賞会オープニングセレモニー 来場者数162人</p> <p>7月 21日 あじさい剪定</p> <p>また、平成29年度に誕生したご当地キャラ「宮原ホタルん」を活用しホタルの里をPRするため、着ぐるみでイベントに参加したり、グッズを作成して地域に配布したほか、まちづくりセンターでホタルの育成に取り組んでいる。</p>				
企画・実施した人	<p>宮原地区まちづくり推進委員会が中心となって、自治会連合会等の地元団体や学校などの協力を得て行った。</p> <p>引き続き地元の住民や学校の協力を得ながら管理運営を行う。</p>				
苦労した点	<p>宮原の「宝」としてホタルの里を伝承していくためにも後継者育成が急務とされているが、若い世代の担い手不足で思うように進んでいない。</p> <p>ホタルの里の維持管理においても、川からの水の引き込みに苦慮している。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ホタルの里清掃活動</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ホタルの里観賞会オープニング</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ホタルの里観賞会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>あじさい剪定</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>学校との連携も深まり、宮原地区に住む子どもからお年寄りまで幅広く活動が周知され、定着しつつある。</p>				

番号	27	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	阪井 昌行
事業名	みんなで防災を考える集いin宮原2022			事業費	139,000円
事業の目的	近年、国内各地で毎年のように甚大な被害を及ぼす激甚災害が起こっている。こうした中、多くの住民が万一の時に「自分の命は自分で守る」ための防災知識を学ぶことによって、それぞれの防災意識を高めることを目的とする。				
事業概要	<p>日時：令和4年11月26日（土）9：00～12：00  場所：宮原中学校体育館 参加人数：約200人  内容：中学生発表</p> <p>1年生 宮原地区の危険な場所と避難の仕方  2年生 大規模災害対応訓練施設で学んだこと</p> <p>体験ブース、展示の見学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なまずの学校</li> <li>・持ち出し品なあに？クイズ</li> <li>・マイタイムラインの使い方</li> <li>・負傷者への応急救護</li> <li>・避難所用具の組立方</li> <li>・消火器の使い方</li> <li>・非常食体験</li> <li>・新聞紙で作る防災工作</li> <li>・展示コーナー</li> </ul>				
企画・実施した人	宮原地区まちづくり推進委員会，宮原地区自主防災リーダー，宮原中学校生徒				
苦労した点	中学生の意見を取り入れての企画立案のため、内容を決めるまでに時間がかかった。体験ブースにおいては、スタッフも未経験の内容があったため、事前の学習会を行った。				
活動状況	 <p>中学生の研究発表</p>		 <p>持ち出し品なあに？クイズ</p>		
	 <p>消火器の使い方</p>		 <p>展示</p>		
活動の成果	様々な世代が集い、防災について一緒に考えることにより、防災意識をより高めることができた。特に中学生はジュニア防災リーダーとしての自覚が促された。				



番号	28	団体名	天応まちづくり委員会	代表者	友井 輝道
事業名	地域人材活用事業			事業費	約430,000円
事業の目的	地域の新たな担い手として期待される「まちづくりサポーター」が、自主的そして積極的にまちづくり活動を行えるように、その拠点となる「ふれあい集会所」を昨年度に引き続き改修を行い、また、使用する際の損耗料を負担するなどの支援をすることで、地域の人材をまちづくりに活かす。				
事業概要	「ふれあい集会所」の損耗料を令和4年4月～令和5年3月の各月負担 オーニング設置工事を昨年度の「天応ふれあい集会所」正面に引き続き、南側に行った。				
企画・実施した人	天応まちづくり委員会の四役会議で企画立案し、あらたにまちづくり委員会のメンバーに加わった「まちづくりサポーター」と協働し事業を行った。				
苦労した点	まちづくりの拠点とする「ふれあい集会所」は老朽化が徐々に進行しており、地域人材が活動しやすく、施設を維持していくための新たな方策を捻出するのに苦心した。				
活動状況	 <p>オーニング全景</p>		 <p>天応de出張販売</p>		
	 <p>ふれあいカフェ</p>		 <p>だがしや「E n えん」</p>		
活動の成果	まちづくりの拠点である「ふれあい集会所」の機能向上、維持管理費の間接的支援を行うことにより、まちづくりサポーターや地域活動団体の活動が円滑に行われたことにより、ひいてはまちづくりの中心となる人材の資質の向上につながり、また、各種イベントの開催が増え、天応町民に癒やしと活気を与えることができた。				

番号	29	団体名	天応まちづくり委員会	代表者	友井 輝道
事業名	ウィンターコンサート			事業費	約57,000円
事業の目的	毎年12月に開催するコンサートであり、楽器の演奏や歌声により、天応町民に憩いのひとときを味わってもらう。				
事業概要	日時：令和4年12月17日（土）13時30分～15時 場所：天応まちづくりセンター 3階ホール 演奏：エバーグリーンコーラス 呉少年合唱団 2部制 参加者：90名（出演者，スタッフを含む）				
企画・実施した人	天応まちづくり委員会の四役会議において企画立案するとともに、天応まちづくりセンターのスタッフを中心として、コンサート会場などの設営や運営を行った。				
苦労した点	新型コロナウイルスの感染拡大防止の対策として、来場者等に体温測定、手指消毒、マスクの着用をお願いする等した。				
活動状況					
	1部 エバーグリーンコーラス				
					
	2部 少年合唱団		少年合唱団 with エバーグリーンコーラス		
活動の成果	新型コロナウイルスの影響で、各種行事への参加機会が奪われた天応町民の心に、音楽の力で、癒やしと活気を与えることができた。来場者からは、喜びの声が聞かれた。				

番号	30	団体名	昭和東女性会	代表者	田北 貴子
事業名	昭和東女性会 75周年記念式典			事業費	825,000円
事業の目的	昭和東女性会75周年の節目に、地域への感謝を込めて華やかな催しを行う				
事業概要	<p>日 時：令和4年5月22日(日) 13時30分～15時 場 所：旧昭和東小学校体育館</p> <p>地域住民を招き、昭和東女性会の75年の歩みを紹介しつつ、加入者によるフラダンスや南一誠氏のコンサートを楽しんでいただくことで感謝を伝える。</p>				
企画・実施した人	昭和東女性会				
苦労した点	主催者がきちんと新型コロナウイルス感染症対策を図り、安心して楽しんでもらえるよう、イス配置等を工夫した点。				
活動状況	 				
活動の成果	関係者全員が団結し開催したことで、来場者から喜びの声を多数いただいた。地域の”楽しい”に貢献できたと感じる。				



番号	31	団体名	昭和西女性会	代表者	岩田 千賀子
事業名	クリスマスコンサート			事業費	400,000円
事業の目的	<p>コロナ禍で誰もが耐え忍ぶ日々を余儀なくされています。ワクワクドキドキするような音楽を聴いてみんなの心が元気になればと思い演奏会を企画した。</p>				
事業概要	<p>日 時：令和4年12月3日(土) 13時30分～15時 場 所：昭和まちづくりセンター3階ホール</p> <p>姜暁艶 二胡コンサート 二胡・エレクトーン・ドラム によるクリスマスを彩るコンサート</p>				
企画・実施した人	呉市昭和西女性会				
苦労した点	<p>新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、入場制限を行いできるだけ多くの方々に来場いただけるようイス配置等を検討した。</p>				
活動状況	   				
活動の成果	<p>来場者のお声から、毎年楽しみにされている方が多いことを実感し、ひととき街に活力をもたらせられたと思う。</p>				





番号	32	団体名	NPO法人 昭和地区まちづくり協議会	代表者	神田 晃典
事業名	「おかあさんの被爆ピアノ」上映会+トークショー+被爆ピアノミニコンサート			事業費	540,000円
事業の目的	<p>コロナ禍において自粛・縮小状況となっている地域の季節イベントについて、まちづくり活動を継続的に支援する視点から、ウイルスの感染防止対策をセットで実施した上で事業に取り組む。</p> <p>子供も入場可とし気軽に楽しめる音楽コンサートを通じて、地元にいながら気楽に、しかも本格的な演奏を聴くことができる場を昭和地区住民に提供することを目的にイベントを企画した。</p>				
事業概要	<p>日 時：令和4年5月8日（日）13時～16時 場 所：昭和まちづくりセンター3階ホール</p> <p>第1部映画上映，第2部トークショー，第3部 被爆ピアノミニコンサート 第2部では五藤監督，物語のモデルとなった矢川氏，映画にキャスト出演した谷本氏を迎え，映画の製作についてや平和への思いなどを語っていただいた。 司会は昭和地区在住の石井直子氏。 第3部では谷本氏による弾き語りのミニコンサートを開催。</p>				
企画・実施した人	NPO法人 昭和地区まちづくり協議会				
苦労した点	今年度から始動した『街カツプロジェクト』の”きよみんワンコイン”シリーズ第1弾。500円と安価ではあるが初めて料金を徴収しての催しだったため来場数に不安があった。通常はやらない，一般誌などにも情報掲載を依頼して120人が集まってくれた。				
活動状況					
活動の成果	これまで昭和地区で映画やコンサートなどを催す場合，概ね無料で開催されてきました。”無料だから見に来る”ということも外に出かける動機になり，地区住人に一定の効果はあるものの，料金を支払ってより良いものを鑑賞するという文化が根付いていないようでした。しかし今回の来場者は有料でも関係なくたつぷりと楽しみ喜んでいただけましたようです。				

番号	33	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	ふれあい・いきいきサロン			事業費	150,000円
事業の目的	高齢者が家庭や地域の中で孤立しないように、地域の人たちが定期的にまちづくりセンターに集い、高齢者が健康でいきいきとした生活が送れるよう地域全体で見守り支援する。				
事業概要	<p>平成21年度より70歳以上の高齢者を対象に月に1回開催。  時間：10時～12時  （新型コロナウイルス感染拡大防止のため、時間を短縮）  内容：今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、8月・9月のサロンを中止した。昨年度と同様に各種趣味講座は行わず午前のみで開催。  健康体操やお誕生日会など感染対策を取った上で実施し、ステージイベント等を楽しんだ。  特徴：地元の団体と連携し実施。  医療機関や警察・交通安全協会等の協力により講演会や生活安全指導を実施。  参加者は、現在150人（うち協力員50人）が参加する市内最大のサロンとして毎月のサロンを継続している。また、地域の小学校や保育所と連携し、世代間交流を定期的実施した。</p>				
企画・実施した人	サロン運営委員会（地元自治連、民児協、女性会、運動推進の運営委員と各自治会から推薦された協力員の代表で組織）				
苦労した点	各自治会組織の協力員の組織化と地域リーダーの養成。 コロナ渦でサロンを開催する事ができない月があり、運営会議を行えない中で、参加者や出演者への急な中止の連絡やイベントの組み替えなどを、決定し実施していくことに各協力員が苦慮した。				
活動状況	 <p>ステージイベント</p>		 <p>レクリエーション</p>		
	 <p>ステージイベント</p>		 <p>健康教室</p>		
活動の成果	このサロンは、郷原全地区の方々を対象となっている。近隣住民の交流のみにとどまらず、日頃会話をすることのない人たちと交流を深めることができる。また、コロナ渦で人々が集まることが出来なくなっているなかで、おたがいが理解しあい、楽しく、時には体を動かし、生きがいを感じる数少ない郷原地区の憩いの場となっている。				





番号	34	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	各種スポーツ大会			事業費	160,000円
事業の目的	新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、昨年度は、各種スポーツ大会がすべて中止された。今年度は、隔年で行われている「郷原町卓球大会」や郷原町の自治会対抗で行われる「郷原町青少年ソフトボール大会」など、地域の交流や住民の健康増進を目的とした4つの大会が開催された。				
事業概要	<p>第24回郷原町グラウンドゴルフ大会  日時・場所：令和4年6月12日（日） 8時～ ・グリーンヒル郷原グラウンド</p> <p>第32回郷原町民卓球大会  日時・場所：令和4年7月10日（日） 9時～ ・郷原小学校体育館</p> <p>第55回郷原町青少年ソフトボール大会  日時・場所：令和4年8月14日（月） 8時30分～ ・焼山公園 多目的広場</p> <p>第44回郷原町民ロードレース大会・第37回郷原町駅伝競走大会  日時・場所：令和4年12月10日（土） 8時40分～ ・郷原町内</p>				
企画・実施した人	郷原地区体育協会				
苦労した点	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参加者及び関係者の感染防止対策や交通安全対策などに配慮が必要とされた。また、昨年度に開催されなかったことにより人員確保や準備物の調整などに苦慮した。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>グラウンドゴルフ大会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>卓球大会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ソフトボール大会</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ロードレース大会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>駅伝競走大会</p> </div> </div>				
活動の成果	スポーツを通じて、住民のスポーツへの関心を高め、地域の活性化やスポーツ振興を図ることができた。また、次世代の子どもたちと地域とをつなぐ機会を確保できた。				



番号	35	団体名	下蒲刈地区交通安全推進協議会	代表者	吉川 宏夫
事業名	交通安全テント村及び交通安全キャンペーン			事業費	50,000円
事業の目的	春と秋の全国交通安全運動期間中に交通安全推進委員による交通安全テント村の運営と、秋の運動期間中は下蒲刈保育所児童による交通安全キャンペーンを行い、交通安全の啓発活動を行っている。				
事業概要	春の交通安全テント村 日時：令和4年4月7日（木）7時～8時 場所：下蒲刈町見戸代交差点 秋の交通安全テント村 日時：令和4年9月22日（木）7時～8時 場所：下蒲刈町見戸代交差点 交通安全キャンペーン 日時：令和4年9月22日（木）9時～9時30分 場所：大津泊庭園駐車場				
企画・実施した人	下蒲刈地区交通安全推進協議会				
苦労した点	新型コロナウイルス対策としてマスク着用で対応をしたが、運転者に気持ちよく受領してもらえるよう言動に気をつけた。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">交通安全テント村（見戸代交差点）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">交通安全キャンペーン（大津泊庭園駐車場）</p>				
活動の成果	活動を通じて、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を呼びかけることができた。				

番号	36	団体名	下蒲刈地区自治会連合会	代表者	原田 敏信
事業名	令和4年度呉市下蒲刈地区はたちの集い			事業費	92,571円
事業の目的	地域をあげて二十歳を迎えた成人を祝福するとともに、成人自身の地域を担う自負と地域社会の一員としての自覚を促すため、式典及び茶会を開催する。				
事業概要	日時：令和5年1月8日（日）13時20分～14時30分 会場：三之瀬御本陣芸術文化館（式典），白雪楼（茶会） 内容：式典（はたちの誓い，近況報告） 記念写真撮影（新成人及び主催者・来賓） 茶会（新成人・恩師）				
企画・実施した人	下蒲刈地区自治会連合会				
苦労した点	例年は、蘭島閣美術館で開催しているが、今年度は、美術館の諸事情により、開催場所が三之瀬御本陣芸術文化館に変更となった。 文化館では、展示室を使用しての開催となったため、会場のレイアウトや写真撮影等の制限があった。				
活動状況	<div style="text-align: center;"> <h3>三之瀬御本陣芸術文化館</h3>  </div> <div style="text-align: center;">  <h3>白雪楼 茶会の様子</h3> </div>				
活動の成果	コロナ禍で制約の多い中、来賓並びに恩師にも式典に出席いただき、二十歳を迎えた成人の新たな門出を祝うことができた。				



番号	37	団体名	呉市川尻町まちづくり委員会	代表者	隠村 誠二
事業名	防災手作りカレンダーを贈ろう			事業費	100,000円
事業の目的	iPadを利用して絵手紙の描き方を学び、技術科で学習する情報技術を活用した手作りカレンダーを川尻中学校1年生全員で作成し、民生委員の方と共に地域にお住まいの一人暮らしの高齢者宅を訪問し、手作りカレンダーを配布する活動を通じて、地域の方々と交流を深めることや、地域に貢献しているという達成感や郷土愛を育てることを目指す。				
事業概要	<p>【令和4年度】</p> <p>&lt;9月&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の取組について川尻中学校1年生によるプレゼンテーション (9月7日(水))</li> <li>・絵手紙の作成 (カレンダー挿絵)</li> </ul> <p>&lt;10月～11月&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カレンダー作成</li> </ul> <p>&lt;12月&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員の方と打合せ (12月14日(水))</li> <li>・カレンダー訪問配布</li> </ul>				
企画・実施した人	呉市川尻町まちづくり委員会, 呉市第23区民生委員児童委員協議会, 呉市立川尻中学校				
苦労した点	関係団体との連絡調整				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>日野先生による絵手紙指導</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>絵手紙(挿絵)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>打合せ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>訪問配布</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>川尻中学校1年生と民生委員の方で、地域の高齢者宅80軒を訪問し手作りカレンダーを直接配布した。その際、生徒自身が高齢者に温かい言葉をかけ関わろうとする姿が伺え、幅広い世代での世代間交流の機会を設けることができた。</p> <p>また、地域の方からは「いつも楽しみにしているよ。今年もよく来てくれたね、ありがとう」と言葉をかけられ、生徒からは「地域の方々の喜ぶ姿が今まで以上に繋がりを感ずることができ、とても嬉しかった。」「地域の人のために活動できて良かった。」などの感想がり、地域の方々との交流を深めることができた。</p>				



番号	38	団体名	川尻町地区社会福祉協議会	代表者	隠村 誠二
事業名	令和4年度 川尻町はたちの集い			事業費	292,465円
事業の目的	<p>はたち対象者が企画・運営を担い始めて13年目となる「実行委員会」の活動は、地域全体で祝う「はたちの集い」の開催に向けて、中学生から地域の方々まで世代を超えて開催を支えている。</p> <p>【実行委員会の主な活動内容】 ①懇親会の企画立案 ②当日運営（対象者受付・式典司会・懇親会の司会運営）</p>				
事業概要	<p>【実行委員会】 第1回 8月5日（金） 昨年度の新成人を祝う会の様子、今後のスケジュール 第2回 11月4日（金） 企画書の説明、役割分担 準備 1月6日（金） 式典・懇親会会場準備</p> <p>【当日】 1月8日（日） 9時30分～ 打合せ・受付準備（事務局・実行委員・女性会） 10時00分～ 受付（実行委員・女性会） 10時30分～ 記念撮影 10時50分～ 式典{主催者挨拶、来賓挨拶、はたちの誓い} 11時20分～ 懇親会{恩師エピソード紹介、抽選会} 13時00分～ 後片付け（事務局・実行委員・女性会）</p>				
企画・実施した人	実行委員（前年度成人者・今年度対象者・次年度対象者・対象者保護者・地区社協代表者・市民センター担当者）				
苦労した点	実行委員会は対象者の内、中学校当時の生徒会役員を中心に活動を行うが、学生等で市外在住者が多いため、実行委員会結成にあたっての連絡やはたちの集いの企画・準備の調整に時間を要した。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>記念撮影</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>はたちの誓い</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>実行委員</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>懇親会(抽選会)</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>当日は対象者45名が参加した。 また、「はたちの集い」の企画立案や前日及び当日の準備・運営に当該年度実行委員が関わることで、手作り感のある温かい式となった。</p>				



番号	39	団体名	川尻町元気まつり実行委員会	代表者	沖田 徹
事業名	かわじり元気まつり			事業費	2,935,923円
事業の目的	<p>安芸灘大橋有料道路が2000年に開通したことを基に、川尻町の魅力向上及び活性化を目的に始まった「かわじり元気まつり」は、毎年11月の第3日曜日に開催し、毎年約5,000人の来場者で賑わう。</p> <p>開催までに、実行委員会・企画部会(合計9回)・バザー部会を重ね、各種団体をはじめ多くの関係者が一丸となって準備を行う。中学生も準備や当日運営にボランティアとして協力し、地域交流と共にまつりを支えている。</p>				
事業概要	<p>「みんなが集い みんなで創り みんなが楽しむ！」</p> <p>日時 令和4年11月20日(日) 9時～15時30分</p> <p>場所 川尻グラウンド</p> <p>【オープニング】野呂岩海太鼓(野呂岩海太鼓保存会)</p> <p>【メインステージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆のパフォーマンス(広高校書道部)・川尻中学校吹奏楽部・かがやけ かがやきっこ(認定こども園かがやき)・響け!野呂太鼓(川尻小学校6年生)・川尻優秀農産物発表・呉氏Jr.ステージ・かわじりモノ尻〇×クイズ・熊切あさ美TALK&amp;LIVEショーwith ryosuke・水風船どこまでイケル?!・ラッキーナンバーゲーム他</li> </ul> <p>【わくわくイベント】モルックに挑戦!・スカイビュー・呉氏すべり台・ちびっこ迷路他</p> <p>【食の元気市】猪バーガーや猪串焼きなどジビエ料理、広域8町特産品販売など。</p>				
企画・実施した人	川尻町元気まつり実行委員会・川尻町まちづくり委員会・協賛企業				
苦労した点	毎年、マンネリ化しないよう新企画の策定、それに伴う自主財源の確保、来場者の駐車場確保、会場内への誘導等警備、当日スタッフの役割分担、コロナウイルス感染症対策(飲食ブース・出店者の注意喚起・会場配置等)など。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ステージイベント</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>わくわくイベント</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>食の元気市</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ラッキーナンバーゲーム抽選会</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>コロナ禍による中止が続き、今年は3年ぶりの開催で「町民皆で盛り上げよう!」との機運が高まり、出店・関係団体から多くの参加と、地元企業等から協賛金の支援を受けて、約6,000人が来場し盛大に開催することができた。</p> <p>飲食ブースでは新たにキッチンカー5店を含む35店、フリーマーケット29店、各団体によるわくわくイベント出店など、過去にない規模のブース会場となり大いに賑わった。来場者から「久しぶりのお祭りで元気をもらった!」など多数の意見をいただいた。</p>				



番号	40	団体名	音戸町まちづくり協議会	代表者	川本 志津代
事業名	音戸ふれあい朝市			事業費	600,000円
事業の目的	住民同士のふれあいや、三世代が楽しく交流できる場を提供するとともに、町内のにぎわいづくりと地域活性化、地産地消による食の推進を図るため、平成20年10月に第1回目を開催し、以降毎月1回、原則第1土曜日にふれあい広場（旧音戸町役場跡地）で開催している。				
事業概要	<p>日時：原則毎月第1土曜日 10時～12時頃</p> <p>場所：ふれあい広場（旧音戸町役場跡地）</p> <p>内容：新鮮な野菜や魚介類、タコ天、炊き込みご飯、細うどんなどの販売の他、プロ野球観戦券などが当たるお楽しみ抽選会や、保育園園児や小中学校生徒による歌や踊りなどの披露なども実施している。</p>				
企画・実施した人	音戸町まちづくり協議会				
苦労した点	<p>新型コロナウイルス感染防止対策のための作業（パーテーション、クリアカーテン、消毒液スタンド、検温器などの設置及び撤収など）が追加され、スタッフの負担が増加。</p> <p>当まちづくり協議会独自のイベント等開催基準を運用中。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>会場内</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>お楽しみ抽選会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>野菜販売コーナー</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>警固屋みらい保育園児によるミニイベント</p> </div> </div>				
活動の成果	今年度は新型コロナウイルス感染症による行動制限も発出されず、中止することなく開催することができた。保育園児のミニイベント等の際には、家族等の多くの来場者があり賑わいを得た。				



番号	41	団体名	音戸町まちづくり協議会	代表者	川本 志津代
事業名	2022おんどフェスティバル-FINAL-			事業費	3,582,000円
事業の目的	<p>市民と参加スタッフが心から笑い、楽しめるイベントを開催し、ふれあいと活力のあるまちづくりに資することを目的とする。旧音戸町時代に、大浦崎スポーツセンターの完成を契機として、当事業が開催されることとなり、合併以降は音戸町まちづくり協議会が引き継いで開催している。3年ぶりの開催で、35回目となるが、今回がおんどフェスティバルとしては最後となった。</p>				
事業概要	<p>日時：令和4年11月13日（日） 10時～15時  場所：大浦崎スポーツセンター  内容：(1) ステージ企画  ◇オープニングセレモニー（開会式）  音戸清盛大鼓  ◇各アトラクション  園児和太鼓・歌（きらきら・なぎさ両保育園）  ダンス（呉氏・呉氏Jr・ジャザサイズ・KUMY）など  ◇抽選会  ◇閉会式《もちまきを》  (2) 会場企画  ◇各種模擬店（おいしいもの沢山！手作り小物！メダカ！など）及び啓発  ◇警察・自衛隊展示、体験乗車・犬、猫の譲渡会・ミニヤギ牧場など  (3) スポーツ大会  ◇少年ソフトボール大会</p>				
企画・実施した人	<p>音戸町まちづくり協議会の役員及び事務局  協議会構成団体（自治会、女性会、老人クラブ、民生児童委員、PTA連合会、商工会、音戸高等学校）</p>				
苦労した点	<p>ステージ企画の時間配分、感染防止対策資材の調達や加工製作、雨天対策、出店団体との調整</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ステージ企画の様様</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ミニヤギと譲渡会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>飲食ブース</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>エンディング（餅まき）</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>出店スタッフ、出演者、来場者等、様々な人が参加し、楽しい時間を共有し交流を深めることができた。惜しくも最終回であったが、十分な集客が得られた。</p>				

番号	42	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会	代表者	中田 正志
事業名	くらはし観光ボランティアガイドの会ジュニアクラブ養成事業			事業費	60,000円
事業の目的	倉橋町の史跡や名所のガイドができる子供ガイドの育成を図る。				
事業概要	<p>日 時：令和4年7月12日 9時30分～12時30分</p> <p>参加者：くらはし観光ボランティアガイドの会会員6名，倉橋中学校1年生19名，担当教員3名，観光振興課5名，計33名</p> <p>内 容：今年くらはし観光ボランティアガイドの会ジュニアクラブに入会した倉橋中学校1年生19名が，ガイド研修として，日本遺産の文化財である「亀ヶ首試射場跡」に船で上陸し，講師（ボランティアガイドの会会員）から遺産についての説明を受けた。また海上から倉橋島の景観を体感し，歴史や文化，産業を習得した。</p>				
企画・実施した人	くらはし観光ボランティアガイドの会，倉橋中学校				
苦勞した点	特になし				
活動状況	 				
活動の成果	<p>①子供ガイドとしての技能や心得を習得した。</p> <p>②郷土に関心を持つきっかけとなった。</p>				






番号	43	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会 (お宝朝市部会)	代表者	中田 正志
事業名	くらはしお宝朝市			事業費	130,000円
事業の目的	新鮮で良質な農水産物をはじめ、倉橋町の特産品を販売することで、地元の農業・漁業・商業の振興を図るとともに、倉橋町の活性化を目的とする。				
事業概要	日時：毎月最終日曜日 8時30分～11時頃 場所：倉橋桂浜温泉館万葉の里駐車場 内容：①地元特産品等の販売 野菜・果物・鮮魚・ちりめん・牡蠣・コーヒー・パン・発酵食品・焼いも等 ②お楽しみイベント お買い物スタンプラリー（毎月） ぜんざい無料サービス（4, 10, 12月） そうめん無料サービス（5, 6, 7, 8月） ポップコーン無料サービス（9月） とん汁無料サービス（11月） マスク入れプレゼント（5月）、スイカ割り（7月） スーパーボールすくい（7, 8月）、輪投げ（11月） ヨーヨー釣り（9月）、恐竜じゃんけん（8, 9, 12月） 工作教室（10月）、ハロウィーン（10月） 石地みかんの無料配布（11月、12周年記念イベント） 紅白もちの無料配布（12月、年末イベント） クリスマスイベント				
企画・実施した人	漁協、商工会等の団体と地元の特産品販売店が中心となって企画し、地域おこし協力隊、市職員が協働で実施する。				
苦労した点	①集客・PR方法 ②新型コロナウイルス感染症対策				
活動状況	会場内のようす 				
活動の成果	倉橋町の特産物を、地元や呉市近郊の人にPRし、地域の交流に役立った。				







番号	44	団体名	蒲刈地区自治会連合会	代表者	梶本 良金
事業名	令和4年度蒲刈地区はたちの集い			事業費	約155,481円
事業の目的	蒲刈地区の新成（20歳）を対象に，大人になったことを自覚し，自ら生き抜こうとする青年を祝福し励ます。				
事業概要	<p>日時 令和5年1月10日（日） 10時～</p> <p>場所 蒲刈市民センター2階大会議室</p> <p>式典 開式の辞，国歌斉唱，主催者挨拶，来賓祝辞，二十歳の誓，記念品贈呈，呉市歌斉唱</p> <p>記念講演 講師 元地域おこし協力隊 大塚 一馬 演題 「未来を拓く100の出会い」</p> <p>記念撮影</p> <p>記念植樹 県民の浜で記念碑を設置し，河津桜を植栽した。</p> <p>参加人数 新成人6名</p>				
企画・実施した人	蒲刈地区自治会連合会				
苦労した点	コロナ蔓延防止措置が発令されている中，昨年と同様に検温，消毒など感染対策を徹底し時間を短縮して行った。				
活動状況	 <p>市民センター玄関先</p>		 <p>国歌斉唱</p>		
	 <p>記念講演</p>		 <p>記念植樹</p>		
活動の成果	コロナ過の中でも開催できたことに，参加者は感激の声をあげており，有意義な時間になった。				



番号	45	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	ふれあい・いきいきサロン・敬老会・ちよっとてご助成事業			事業費	39,000円
事業の目的	<p>地元高齢者が広島国際大学とコミュニケーションを持つことで、自分自身の健康状態を把握し、健康に関する知識を高め、いきいきと安心して生活を送ることを目的とします。</p>				
事業概要	<p>広島国際大学による握力計や健康チェック等、健康講座、「笑って生きよう」のDVDを観ながらの健康体操を行うとともに、地元高齢者との交流を行い元気なまちづくりに取り組みました。また、午前中にみかん収穫体験を実施し、豊浜町の自然を満喫しました。</p> <p>第11回瀬戸内イキイキプロジェクト  開催日：令和4年12月18日（日）  参加人数：町内サロン13名、広島国際大学20名  健康講座：冬に多い高齢者のやけど～その予防と対処法～</p>				
企画・実施した人	<p>豊浜町まちづくり協議会  豊浜町地域おこし協力隊  豊浜町各サロン  広島国際大学</p>				
苦労した点	<p>参加者を集めること。</p>				
活動状況	<p>第11回瀬戸内イキイキプロジェクト  (みかん収穫体験) (健康診断)</p>   <p>(健康学習) (健康体操)</p>  				
活動の成果	<p>コロナ禍でもあり、できる範囲での学習会を広島国際大学の協力により実現した。高齢者の方も楽しい一日が過ごせたそうです。</p>				



番号	46	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	伝統的料理の教室			事業費	48,000円
事業の目的	豊浜町の伝統的料理のレシピ本から抜粋した料理を若い世代に継承して伝統の味を守っていく。				
事業概要	<p>豊浜町の伝統的料理を次の世代に継承していくため、地元住民の協力で巻き寿司、ひじき煮、煮しめ（魚の干物入り）、味噌汁をお椀に入れる時に使う「湯桶」を使いながら伝統的料理を学び味などの伝統を守っていく。</p> <p>開催日：令和4年12月7日（水）参加人数：14名（豊浜中2年生）</p>				
企画・実施した人	<p>豊浜町まちづくり協議会 ワーキンググループ 豊浜町地域住民 地域おこし協力隊</p>				
苦労した点	時期によっては魚がとれない場合があり、教える料理が限られてくる。				
活動状況	<p>伝統的料理教室</p>    				
活動の成果	<p>地域住民とのふれあいもでき、良い経験ができた。 豊浜町の伝統的料理を次の世代に継承する事ができた。</p>				





番号	47	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	島めぐり事業（齋で島コン）			事業費	200,000円
事業の目的	<p>地元の男性が瀬戸内の島の魅力（自然環境、料理等）を通じて、都会の女性をもてなして、島の魅力を再発見します。  また、女性との出会いが少ない島の男性に出会いの機会を提供し、カップル誕生を旨とします。</p>				
事業概要	<p>【日時・場所】令和4年10月8日（土） 齋島  下蒲刈・豊浜の独身男性が豊浜町齋島で安芸灘の魅力を紹介しながら都会の女性をもてなす婚活イベントを開催します。  参加者は安芸灘の男性10名、女性8名の18名で自己紹介、バーベキュー、齋島散策など楽しいひとときを過ごします。</p>				
企画・実施した人	<p>豊浜町まちづくり協議会  下蒲刈町まちづくり協議会  豊浜町地域おこし協力隊  下蒲刈町地域おこし協力隊</p>				
苦労した点	<p>若い地元男性の参加が少ないことと、女性を集めることです。</p>				
活動状況	<p>齋で島コン</p>    				
活動の成果	<p>カップルが2組できました。その後、1組のカップルの女性は、男性の住居に近い安芸灘の島に仕事を変更し、現在進行中である。  参加女性のアンケートでは、楽しかったが7名、普通が1名なので、女性の方も楽しんでくれました。</p>				







番号	48	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	農業・漁業体験事業			事業費	68,000円
事業の目的	魚のさばき方教室などの漁業体験, 病気などで収穫が難しい農家をボランティアにより柑橘を収穫する農業体験を行い, 豊浜町の産業を知ってもらい交流などを行います。				
事業概要	<p>漁業体験事業の魚さばき方教室は, 豊浜産の鯛・サザエを地元の方の指導でさばいて試食する事業です。 開催日: 令和4年10月30日(日) 参加人数: 10名 メニュー: 鯛, ヤズ及びサザエの刺身</p> <p>農業体験事業の柑橘収穫ボランティアは, 病気等で収穫することのできない農地のレモンをすべて収穫することで, 来年も収穫できる農地を守る事業です。 開催日: 令和5年2月5日(日) 参加人数: 4名</p>				
企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会 地域おこし協力隊 地域外のボランティア				
苦労した点	魚さばき方教室は, 時期により魚の確保が難しいこと。 収穫ボランティアとの日程の調整 (レモンは寒波に弱いため)				
活動状況	<p>魚さばき方教室</p>  <p>柑橘収穫ボランティア事業</p> 				
活動の成果	<p>魚のさばき方教室では, サザエをさばくのは初めての方もおり, サザエを殻から出すのに苦労した。二年目の参加者はずいぶん上達していました。また, 地元の方との交流もでき, 豊浜の味のPRができた。</p> <p>柑橘農家支援ボランティアは今年レモンの収穫で少人数のため, 大変でしたが農家の方も喜ばれていました。</p>				



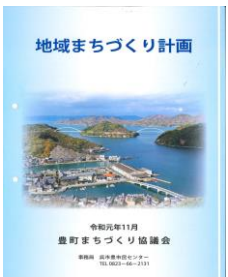
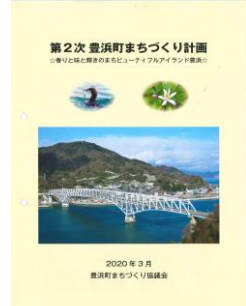
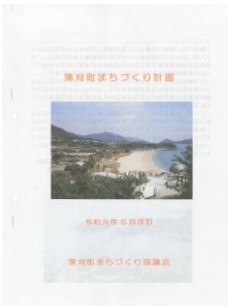
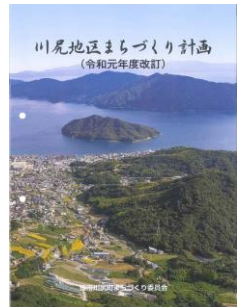
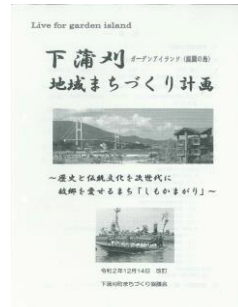
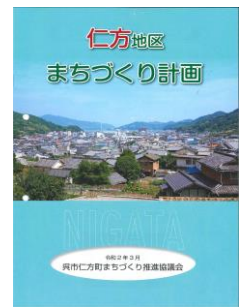
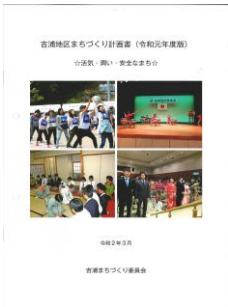
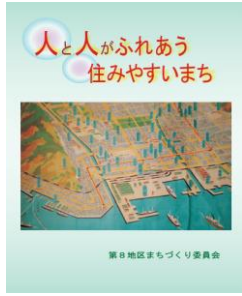
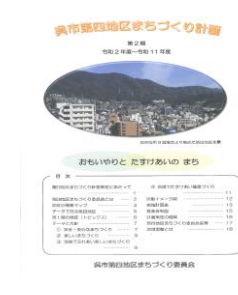
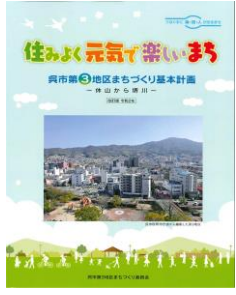
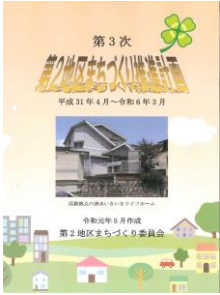
番号	49	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	魔法のランプ事業			事業費	79,000円
事業の目的	子どもたちにスポーツや音楽に興味を持ってもらうため、プロ等によるスポーツ教室や音楽コンサートを開催することで、元気な島っ子を育てていきます。				
事業概要	<p>子どもたちには、プロ等の活動を生で見たり、指導を受けることがありません。スポーツや音楽の素晴らしさを間近で触れてもらい興味を持ってもらうため、プロ等の指導などを受けることで技術の向上を図り一段上の世界を体験してもらいます。</p> <p>テニス教室  開催日：令和4年8月2日（火） 参加者 30名  開催日：令和4年8月3日（水） 参加者 30名</p> <p>テニス大会  開催日：令和4年10月15日（土） 参加者：29名</p> <p>キラキラコンサート  開催日：令和4年5月7日（土） 参加者：18名  令和4年5月7日（土） 参加者：24名  （うち高校生以下12名）</p>				
企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会				
苦勞した点	コロナウィルスの影響で開催か中止かの決断に困った。 豊浜中学校と蒲刈中学校と指導員の日程調整に苦勞した。				
活動状況	<p>テニス教室</p>  <p>テニス大会</p>  <p>キラキラコンサート</p> 				
活動の成果	テニス教室で指導を受け、テニス大会を開催することでやる気も起こり技術向上に意欲がわいた感じである。				

番号	50	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	本末 満
事業名	豊町サプライズ花火（豊町七夕納涼祭代替事業）			事業費	2,227,586円
事業の目的	豊町まちづくり協議会策定「地域まちづくり計画」の振興方針「にぎわいと活力ある「ゆたかまち」をつくろう」に基づいて、海上花火大会を実施する。例年は「七夕納涼祭」として他地域から多くの観覧客を受け入れていたが、新型コロナ禍の現状を鑑み、昨年度に続き、人流抑制の観点から町民のみを対象とする事業とした。				
事業概要	<p>日 時：令和4年8月6日（土） 20時～20時15分</p> <p>会 場：豊町大長 JA広島ゆたか大長選果場沖 海上</p> <p>内 容：場所を伏せ、日時のみ町民に限り告知することによる、サプライズ花火として実施</p> <p>実施方法：海上に設置した煙火機より打ち上げ</p> <p>打上数量：仕掛、打揚煙火612発 小型煙火300発</p> <p>動員数：500人</p>				
企画・実施した人	<p>主催：豊町七夕納涼祭実行委員会/豊町地区社会福祉協議会/豊町まちづくり協議会</p> <p>企画・運営：商工会青年部豊地区・呉広域商工会</p>				
苦労した点	豊地区外への大会開催の情報漏洩と当日の気象条件に注意を払った。				
活動状況	 				
活動の成果	新型コロナ禍の終息も未だ見えず、各種企画は軒並み中止となっている豊地区の人々の閉塞感を、花火により元気づけるとともに、悪疫退散を祈念することができた。				



番号	51	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	本末 満	
事業名	豊町はたちの集い			事業費	135,184円	
事業の目的	豊町まちづくり協議会策定「地域まちづくり計画」の振興方針「人々の心がふれあう「ゆたかまち」をつくろう」に基づいて地域の新はたちの門出を祝う。					
事業概要	<p>日 時：令和4年8月15日（月） 10時～</p> <p>会 場：豊まちづくりセンター 堀ばたホール</p> <p>内 容：1. 式典（開式の辞，国歌・市歌斉唱，新はたち紹介，式辞，来賓祝辞，記念品贈呈，答辞，閉式の辞）</p> <p>2. アトラクション（巻きわら謝礼）</p> <p>3. 記念講演 講師：伊藤妃呂子（豊町地域おこし協力隊）</p> <p>4. 記念撮影</p>					
企画・実施した人	豊町地区社会福祉協議会，豊町まちづくり協議会，豊市民センターが中心となり，豊まちづくりセンターの協力のもと開催した。					
苦労した点	昨年度に続き新型コロナ禍ということで，感染拡大防止対策に細心の注意を払ったこと。					
活動状況	<p>集合写真</p> 	<p>式辞</p> 	<p>祝辞</p> 	<p>答辞</p> 	<p>巻きわら射礼</p> 	<p>記念講演</p> 
活動の成果	地域に於いて開催することで，地域出身の新はたちの門出を祝い励ますとともに，地域コミュニティの充実を図ることができた。					

(参考) 地域まちづくり計画



地域の共有する夢（地域の将来像、地域課題の克服等）の実現に向け、おおむね5～10年間で取り組むべき地域の構想で、地域住民の総意に基づいて住民自身（まちづくり委員会）が策定したものです。  
この計画に基づき、地域自らが主体となったまちづくりが進められています。





## **ゆめづくり事例集2022**

発行：令和5(2023)年2月

編集：呉市市民部地域協働課  
各市民センター

